地域の魅力まるごとブランド化検討委員会
第１回広域観光部会議事録

日　　時　　平成２２年６月３０日（月曜日）午後１５時００分～午後１６時３０分
場　　所　　宮島沼 水鳥・湿地センター
議　　題　　１　広域観光の連携について
　　２　親子体験モニターについて
　　３　今後の取り組みについて
　　４　その他
出 席 者　（委　員）
　　脇田陽一、前川和子、森田敏、川島浩、渡部貴司、小田弘幸、野本和宏、
　　藤原栄一、石井恵太
　　（オブザーバー）
　　澤田史志
　　（事務局）
　　奥山隆司、津田雄二、置田孝浩、佐藤政直

議　　事

１　広域観光の連携について

●３市町村広域観光資源検討メニューをもとに、三笠市・月形町から概要説明。

【三笠市】

・三笠鉄道村～幌内鉄道は日本で３番目、北海道初に開通した歴史を持つ。
・三笠市立博物館～アンモナイト等化石の数は日本一。
・幌内炭鉱景観公園～炭鉱遺産として有名。
・明日佳 梅の杜～１万本の梅の木。
・ミカサモダンアートミュージアム～旧小学校を利用した施設。
・パークゴルフ場「サンパーク」～予約が殺到するほどの人気。
・道の駅～北海道で登録第１号
・三笠の鶏醤～鶏の内臓を発行させて作った醤油。
・石炭ざんぎ～味の評判がよく、市内でも売り出されている。
・スイカ～「初恋」という品種が市場になかなか出回らない為、希少価値が高い。

【月形町】

・皆楽公園～月形で一番の広さで、施設も充実している。
・パークゴルフ場～１日４００円で利用可能。
・はな工房～全８０名が宿泊可能。

・月形温泉ゆりかご～木工芸体験。
・道民の森 月形地区～道に指定された自然体験型キャンプ場。
・月ヶ湖～野鳥観察。
・円山公園～花見のメッカ、展望台あり、杉林は北限
・月形樺戸博物館～樺戸集治監の紹介。
・月形メロン～「月の雫」や「北の女王」が人気。
・ゴジラのたまご～楕円形のスイカで人気がある。
・ジンギスカン～「さかえ」が人気。
・トマトジャム～ジャム以外にもトマトラーメン（つけ麺タイプ）を新開発。

●広域観光について
・広域で行うにはストーリー性をもって連携していくような形が必要ではないか。（脇田委員）
・最終的にはツアーとして行いたい。（事務局・置田）
・各市町で年間通じて人が多く訪れる場所はどこなのか？これらを把握して点と点とを結んでいけばいいのではないか。（川島委員）
→三笠だと「道の駅」が多くの人が訪れている。（小田委員）
→三笠の「道の駅」は富良野との分岐点であり、且つ、トイレやショッピングも可能なことから、富良野と絡めることで集客を期待できる。（森田委員）
→鉄道村や山崎ワイナリーの評判もいい。（脇田委員）
→山崎ワイナリーのフットパス（４ｋｍ弱）に参加してみたが、見晴らしもよく、気持ちよかった。既に南幌町でフットパスが行われているが、ストーリー性や歴史を絡めるといいのではないか。東京都庁でイベントの際、旅行エージェントをまわってみたが、各エージェントもストーリー性を強調していた。（事務局・奥山）
・ＫＡＮ空（関西を代表する洋菓子店が、各々に自慢のお菓子を出し、それを一つの詰め合わせとして販売している）のような形で、美唄・三笠・月形で広域性とストーリー性を加味して詰め合わせを出せないか。（脇田委員）
→月形では日持ちのする食べ物がないので、箱の中に月形のドライフラワーを入れるといった形で連携できるかもしれない。（藤原委員）
・道新ぶんぶんクラブで、Ｂ級グルメツアーが企画されたが、僅か２時間で予約いっぱいとなり、先日ツアーも行われたが大変好評だった。（事務局・津田）
→果たしてＢ級グルメ的なものがウケているのか？それとも田舎の風情がすきなのか？どういうコンセプトを持ってやるべきかを明らかにしないと、広域の観光も纏まらないのではないか。（川島委員）
→マニアックでいくのか？万人ウケで行くのか？の見極めが大切ではないか。（森田委員）
→多くの方がマニア化しつつあり、こうした多様化する客のニーズを踏まえると、例えば

阿寒や洞爺と同じような価値観では通用しない。各市町にとって何が自信あるのか？「自信」をもって出せるものを各市町で結び付けていってはどうか。（澤田オブザーバー）

２　親子体験モニターについて

・昨年は内容自体は大好評だったもののＰＲ方法が不味くて上手くいかなかった経過がある。今年は反省点を改善して成功させたい。（事務局・置田）
→夏休みの自由研究をコンセプトに内容自体は本当に良かった。しかし、売り方が問題。昨年はパンフレットでＰＲした時には既に夏休みが始まっていた。夏休み前にＰＲした方がいい。また、字ばかりのパンフレットだったので、ビジュアル面でも課題が残った。市の協賛が得られれば、教育機関への周知もスムーズに行くだろうから、協賛を得られないか。（森田委員）
→日程的には８月４，５，６日の中で調整を行っていきたい。それまでにパンフレットもビジュアル面の改善を図るなどしていきたい。なお、市の協賛については内部協議した上で見解を示したい。（事務局・置田）
→札幌方面への宣伝方法や伝手など工夫すべきである。（脇田委員）

３　今後の取り組みについて

・今回の中で話し合われた「ストーリー性」「歴史」「自信をもって出せるもの」について、次回の検討会において話し合っていきたい。次回は委員各々から、これらについて案を出していただきたい。次回開催予定８月末から９月上旬。

４　その他

特になし

決　　定

・「ストーリー性」「歴史」「自信をもって出せるもの」について、次回会議にて各委員から簡単な案を出してもらいながら検討を行う。
・次回開催予定８月末から９月上旬。

以　上